



# サービス担当者会議と モニタリング

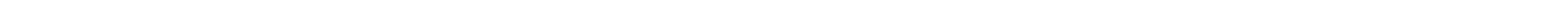
徳島県看護協会 指定居宅介護支援事業所徳島

石田 直子

---

# サービス担当者会議 講義内容

- ・サービス担当者会議の意義・参加者とスケジュール調整
- ・サービス担当者会議の種類と流れ
- ・進行役の心得
- ・話し合いの進め方・決め方・終わり方



# サービス担当者会議の目的と5つの効果

## 目的

- ①顔の見える関係づくり
- ②多様な視点から見立てと手立てを考える
- ③「これまで」「これから」を話し合う
- ④苦労と頑張りの共有
- ⑤リスクを見し、対応策

## 効果

- ①線の関係から面の関係
- ②ケアチームの信頼づくり
- ③情緒的支え合い
- ④モチベーションアップ
- ⑤リスクの共有化と分散化

# 参加者

地域包括支援センター・  
保健師・ケースワーカー  
など

民生員・町内会・  
老人会・地域住民  
など

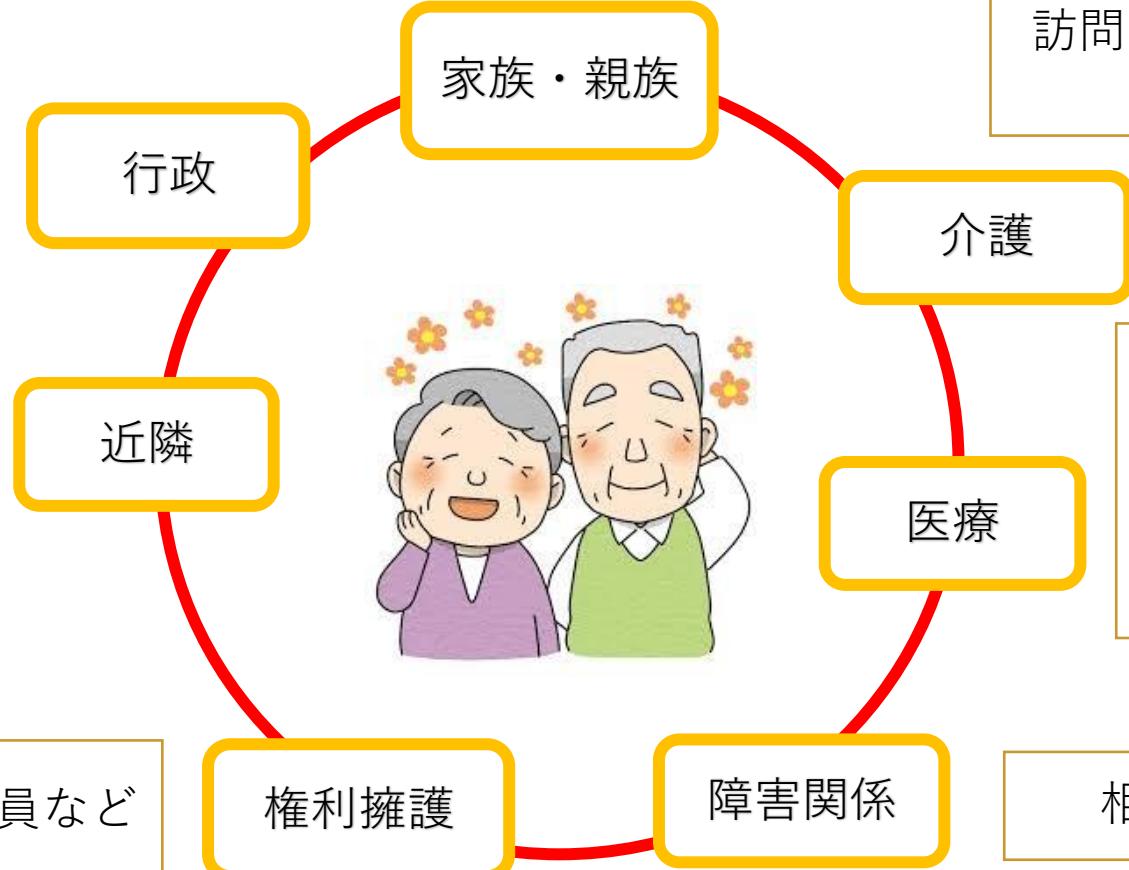
弁護士・成年後見人・生活支援員など

配偶者・子供とその配偶者・  
兄弟姉妹・甥姪など

訪問系・通所系・短期入所系・  
福祉用具など

主治医・看護師・薬  
剤師・歯科衛生士・  
理学療法士など

相談支援相談員など



## グループワーク ①

▷ みなさんはスケジュールの調整をどのように行っていますか？？

---

# サービス担当者会議の種類と流れ

▷新規ケース

▷更新ケース

▷テーマ別

▷要介護度変更

▷引継ぎ

- 新規ケースでの流れ

- ①あいさつ、自己紹介
- ②申請から利用に至る経緯及び認定結果の説明
- ③利用者・家族の意向
- ④アセスメント内容の説明
- ⑤⑥ケアプラン第1～3表の説明
- ⑦個別サービス計画の概要説明
- ⑧話し合い（質問を含む）
- ⑨まとめと次回の日程調整

## グループワーク ②

- ▷ みなさんは新規ケースではどのような点を工夫していますか？？
  - ▷ 利用者・家族の状態によってどのような点に注意すれば良いですか？？
-

# 進行役の心得（1）

▷進行役が単独の場合

- ・担当ケアマネ

▷進行役が複数の場合

- ・事業所ケアマネ・担当ケアマネ
- ・地域包括ケアマネ・担当ケアマネ

①大きく **うなずく**

②**相づち**を打つ

③話を**反復**する、**キーワード**を拾う

④示唆的な**言い回し**を使う

# 進行役の心得（2）

質問力  
(話し合いの潤滑油)

相乗り発言  
相乗り質問

## 身振り（ボディアクション）

### ・共感の身振り

うなずき（小さく、大きく、深く、ゆっくり、たっぷり）  
ながら周囲を見回す

### ・促しの身振り

手のひらを上に向け、頭の上から大きく腕をおろし「どうぞ」と差し出す

### ・聞き取りの身振り

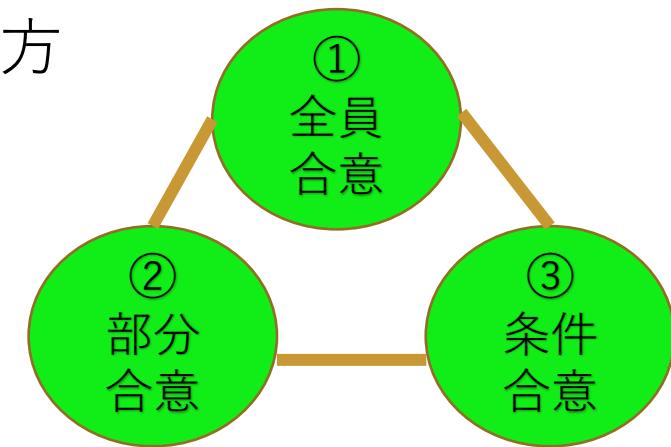
アイコンタクトを送る、少し前のめりになる、メモを書く

# 話し合いの進め方・決め方・終わり方

## ▷進め方



## ▷決め方



先送り

要検討

個別対応

## ▷終わり方



# モニタリング 講義内容

- モニタリングの目的と手法、その担い手
- 状況の変化と把握
- 長期目標・短期目標の達成度の検証
- 満足度とサービスの調整
- リスクマネジメント
- モニタリングの記録



# モニタリングの目的と手法、担い手

## 目的

- ①サービス利用状況と効果の評価
- ②サービスと暮らしへの満足度とミスマッチの修正・調整
- ③リスク管理と対応および予測

## 機会

定期的モニタリングと必要に応じたモニタリング、随時のモニタリング

## 手法

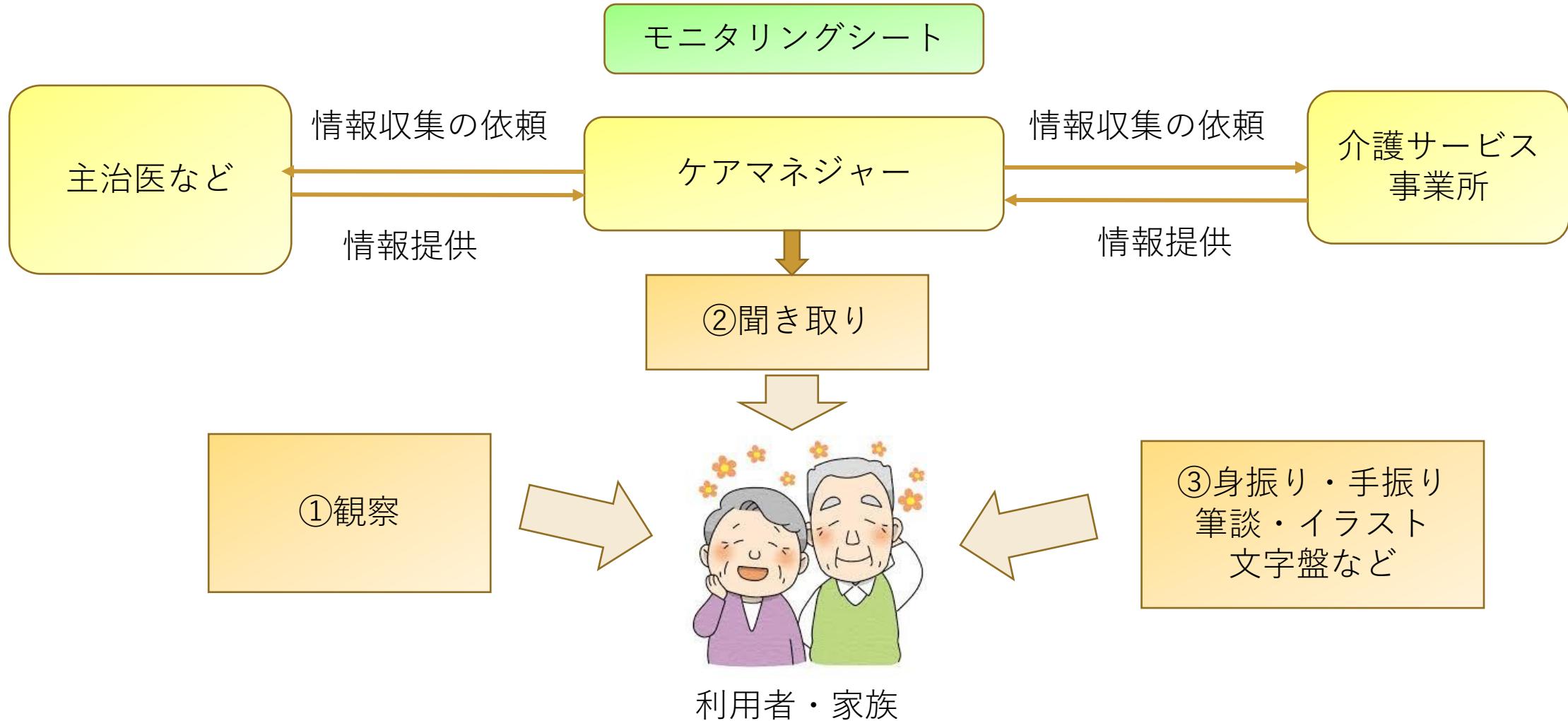
利用者・家族の観察と聞き取り、モニタリングシートや評価表

## 担い手

ケアマネジャー、ケアチーム、本人、家族、近隣住民等

---

# 状況の変化の把握



# 長期目標・短期目標の達成度の検証

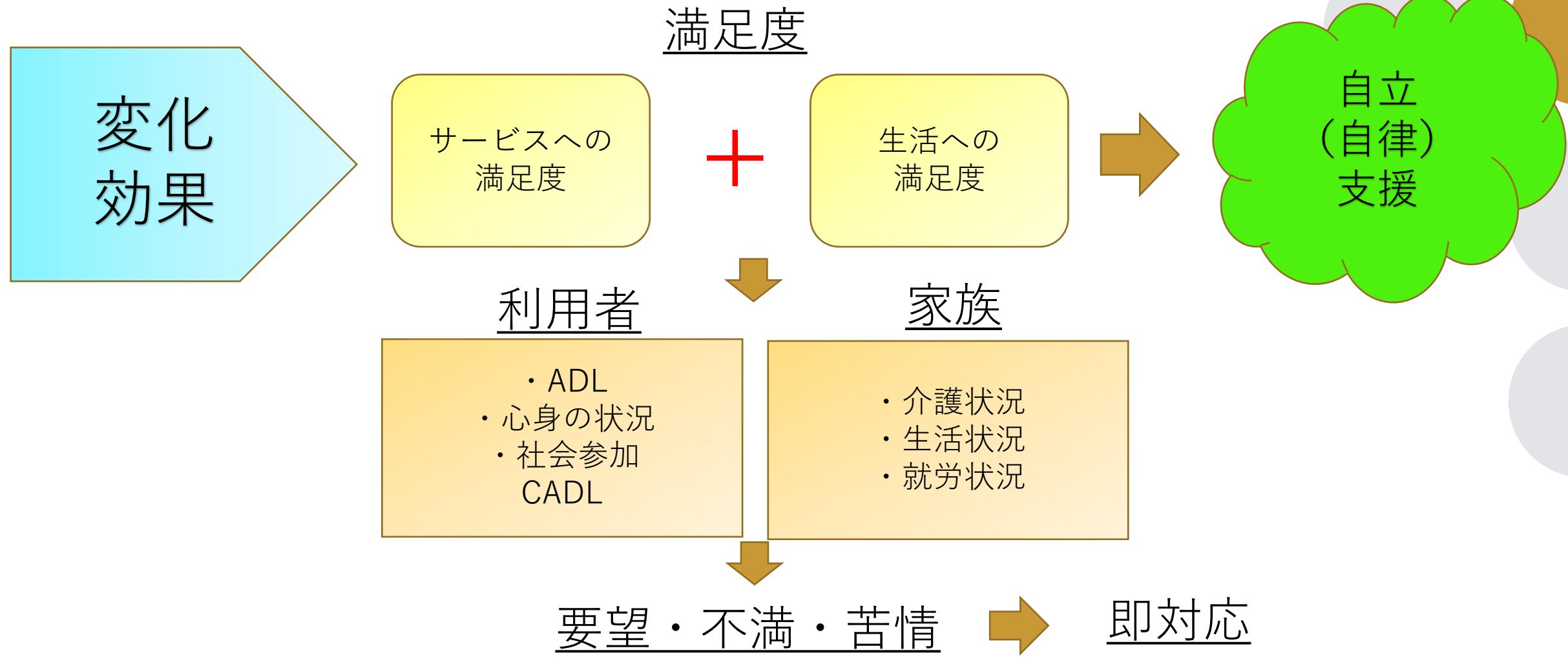
- ▷ ケアプランどおりにサービスが提供され、日常生活の支援がされているか
- ▷ ケア 内容、サービス 種別、サービス 資源、頻度 は適切か
- ▷ 課題（ニーズ）解決に向けた目標がどのように達成されようとしているか
- ▷ 総合的な援助の方法に添った支援が行われているか
- ▷ ケアプランの修正が必要かどうか

---

## グループワーク ③

▷ みなさんはモニタリングの時に課題、長期目標、短期目標の達成度や心身機能、生活機能の改善度をどのように把握していますか？？

# 満足とサービスの調整



# リスクマネジメント

## 利用者・家族のリスク

- ① **心身機能**の低下・悪化のリスク
- ② 心理面や**精神面**の機能低下・悪化のリスク
- ③ 体調管理（服薬、食事、排泄、睡眠、水分補給など）のリスク
- ④ ADL、IADLの機能低下・悪化のリスク
- ⑤ **家計面**のリスク（生活費の困窮、介護保険料、自己負担分の未納など）
- ⑥ 人間関係（家族、親族、近隣など）のリスク
- ⑦ 生活環境（住環境、生活機器、地域環境、気候など）のリスク
- ⑧ 暮らしのリスク（消費者被害、交通事故など）

## 介護サービス事業所のリスク

- ① **量**のリスク（サービス内容通りに提供されていないなど）
- ② **質**のリスク（利用者の自立＜自律＞支援になっていないなど）
- ③ **安全**のリスク（転倒、転落、感染症、インフルエンザ、食中毒、交通事故、虐待的なケア、個人情報の漏洩、プライバシー侵害など）

## グループワーク ④

- ▷ みなさんのケースでリスクに対応することと自立（自律）支援がどのような場面で矛盾し、どのように対応すればいいか悩んだことはありますか？
  - ▷ 介護サービス事業所のケアにおけるリスクと、それをどのようにしたら事前に把握できるのか、どのように対応すればよいでしょうか？
-

# モニタリングの記録

モニタリングについては「特段の事業がない限り少なくとも1ヶ月に1回は記録すること」

※「特段の事業」とは、利用者の事情により面接することが出来ない場合であり、ケアマネジャーに起因する事情は含まれないため注意する。

## 記録

居宅介護支援経過表（第5表）による記録

小タイトル + 内容 + 関係機関・介護支援専門員の判断 + 利用者・家族の考え方

※ケアマネ育成指導者用講義テキストより

# 「5W1H」と「6W2H」

5W1H	6W2H	
When	When	いつ
Where	Where	どこで
Who	Who	誰が
	Whom	誰に
What	What	何を
Why	Why	なぜ
	How much	どれだけ
How	How	どのようにして (行った)

※ケアマネジメントのエッセンスより

## 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う居宅介護支援のサービス担当者会議・モニタリング・面接の取り扱いについて

Q:居宅サービス介護支援のサービス担当者会議について、どのような取り扱いが可能か。

A:感染拡大防止の観点から、やむを得ない理由がある場合については、利用者の自宅以外での開催や電話・メールなどを活用するなどにより、柔軟に対応する事が可能である。なお、利用者の状態に大きな変化が見られない等、居宅サービス計画の変更内容が警備であると認められる場合はサービス担当者会議の開催は不要である。

令和2年2月28日（第3報）

Q:居宅介護支援のモニタリングについて、感染拡大予防の観点から、令和2年2月17日付け事務連絡「新型コロナウイルス感染症にかかる介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取り扱いについて」において示されたとおり、利用者の事情等により、利用者の居宅を訪問できない等、やむを得ない理由がある場合については、月1回以上の実施が出来ない場合についても柔軟な取り扱いが可能か。

A:可能である。令和2年3月6日（第4報）

ご清聴ありがとうございました

---